

第41期 棋王戦

予選特選譜 第2局

先 五段 山本 真也 (43歳)

全日本アマ名人

城間 春樹 (38歳)

【第5譜】 (図は△7六歩まで)



【指了図】 (図は△7七とまで)



消費時間 3時間20分
持ち時間 (指し手98手) 3時間8分
各4時間

- ▲9七角22 ○8六歩2
- ▲5三桂成3 ○6七歩7
- ▲4三成桂30 ○同 金
- ▲8九飛2 ○6八歩成4
- ▲同 金8 ○7七歩成
- ▲6九金5 ○8七と1
- ▲7九角 ○7七角成2
- ▲1四歩 ○同 歩
- ▲1三歩 ○同 香1
- ▲8四歩5 ○9三飛5
- ▲6八角1 ○6七馬
- ▲7九飛 ○7八歩
- ▲8九飛 ○7七と

完封の態勢

隣でも本棋戦の予選、森信雄七段―島本亮五段が行われていたが、こちらは進行が早く午後4時過ぎには終局。静かに感想戦が進ん

だ。その将棋の記録係は長谷川優貴女流二段で、最近女流棋士が積極的に記録係を務めている。

山本の弟子にも高浜愛子女流3級がいる。女流3級になるまで長期間を要した苦勞人で、師匠の山本は女流3級の資格を得たと聞いたときに「まさか、ドッキリじゃないだろうな」と聞き返したとか。今でも弟子の成績が気になるようで、対局の結果に一喜一憂しているらしい。

図から山本は▲9七角とのぞいたが○8六歩と突かれて損をした。ここは▲5三桂成○7七歩成▲9七角○8六歩▲4三成桂○同金▲6四飛なら大変。▲5三

桂成に本譜と同じように○6七歩なら、▲4三成桂○同金▲8四歩○同飛▲5七角と、こちらに角を使える。「まだ勝負手があると思っていたんだけどなあ。▲8九飛では▲5三金でしたか。でも○同金▲同成銀○7七歩成▲4三成銀○2四角▲2五歩○3五角▲3六歩○6二角▲7二歩成○8四角でやっぱり悪そう。▲9七角の罪が重いですね」と山本。

実戦は城間アマの押さえ込みが決まった。待望の○7七歩成が実現して、○8七と○7七角成で先手の飛車角は使い物にならない。見事な完封劇だった。(野間俊克)

H 1 5 年 5 月 1 6 日 掲 載